

部局別 令和5年度主要事業

※令和4年度2月補正（経済対策関連事業）含む

【知事公室】令和5年度主要事業

R5 予算額 18億24百万円
[R4 予算額 41億31百万円]

I 令和2年7月豪雨からの創造的復興

1 情報収集や人命救助など初動体制における災害対応力の強化

(危機管理防災課)

- ・防災情報通信基盤整備事業 31百万円
第3世代衛星通信システムの整備、振興局防災無線設備浸水対策
- ・市町村防災体制・災害対応力強化支援事業 1百万円
市町村職員の研修会等を通じて、市町村の防災対応力の強化を支援

2 地域・住民の防災力の強化 (危機管理防災課)

- ・実践的地域防災力強化事業 7百万円
地区防災計画策定や地区防災訓練の実施など自主防災組織の活動促進を支援
- ・自助力強化推進事業 7百万円
マイタイムラインの普及に取り組み、県民の自助力強化を推進

III 新型コロナウイルス感染症への対応

1 新型コロナウイルス感染症に係る広報 (広報グループ)

・新型コロナウイルス関連広報事業

経済回復と感染症拡大防止のベストバランスに向けたテレビスポットCMやSNS広告等による広報の実施

50百万円



IV 将来に向けた地方創生の取組み

1 くまモンランド化構想の推進 (くまモングループ)

・くまモンランド化推進事業

95百万円

熊本県全体がくまモンの魅力あふれる場所となることで、世界中からヒト・モノ・企業（ビジネスの活性化）が熊本に集まり、くまモンの世界観を楽しむことができる『くまモンランド』の構築を目指す。

2 半導体関連企業及び人材の集積に係る広報 (広報グループ)

・復旧・復興首都圏等広報強化事業 等

45百万円

T S M Cの熊本進出を契機に、台湾を含む国内外に向けて、熊本の認知度を高め、人材や企業の集積等につなげる広報

3 若年層を主なターゲットとした戦略的広報 (広報グループ)

・復旧・復興首都圏等広報強化事業の一部

28百万円

首都圏をはじめ全国の若年層を中心に熊本の認知度向上を図るため、デジタルプロモーションアドバイザーを活用した戦略的なSNS広告等を実施

4 防災体制・防災教育の充実・強化 (危機管理防災課)

・防災DX推進事業 (新)

5百万円

防災ドローンを活用した新たな被害情報収集手段の構築

・防災センター展示・学習室運営事業 (新)

16百万円

災害の教訓や防災対応ノウハウの発信、地域防災の担い手育成

・九州広域防災拠点構想推進事業 (拡)

17百万円

南海トラフ地震想定訓練や広域支援部隊活動拠点の環境整備を実施

II 熊本地震からの創造的復興

1 熊本地震の経験を活かした災害対応力の強化・次世代への継承

(危機管理防災課)

- ・熊本地震デジタルアーカイブ事業 10百万円
熊本災害デジタルアーカイブサイトの運営等
- ・防災センター整備事業 13百万円
新防災センターへの移転費用等



新防災センター (県央広域本部・防災センター合築庁舎) 概要

- ・構造等: 鉄筋コンクリート造免震構造: 地下1階、地上7階
- ・事業費: 99.4億円
- ・延べ面積: 9,970㎡

2 熊本地震の風化防止に係る広報 (広報グループ)

- ・復旧・復興広報強化事業 15百万円
熊本地震の風化防止や、創造的復興が進む熊本の様子、復興支援への感謝の気持ちを発信

【総務部】令和5年度主要事業

R5予算額 2,340億9百万円
[R4予算額 2,273億75百万円]

R4.2補(経済対策分) 5億82百万円

I 熊本地震からの創造的復興

1 被災市町村の復旧・復興支援

- 平成28年熊本地震復興基金交付金（市町村課） 11億32百万円
被災した市町村を支援するための交付金

2 県施設等の復旧

- 県庁舎等施設災害復旧費（財産経営課） 59百万円
駐輪場新設工事、防災センター完成式典に要する経費



II 令和2年7月豪雨からの創造的復興

1 被災生徒等への支援

- 高等学校等通学支援事業（私学振興課） 7百万円
肥薩線を利用して通学する私立学校生徒への通学支援

III 新型コロナウイルス感染症への対応

1 感染症に係る私立学校・生徒への支援

- 新型コロナ私立高等学校専攻科授業料減免補助（私学振興課）
2月補正 82百万円
就学の継続が困難となっている私立高等学校専攻科生徒への支援
- 私立学校ICT教育環境整備推進事業（私学振興課） 15百万円
私立学校のICT教育環境整備への支援

IV 将来に向けた地方創生の取組み

1 働き方改革の推進

- DXによる行政文書管理の効率化事業（県政情報文書課） 21百万円
文書の電子媒体変換業務委託及びコミュニケーションツール利用検討
- 人事給与システム等再構築事業（人事課） 40百万円
次期人事給与システム等再構築計画の策定、調達支援
- 健康管理システム構築事業（総務厚生課） 18百万円
健康管理システム導入に係る業務委託

2 市町村が提供する行政サービスの維持・強化支援

- 市町村行政サービス維持向上支援交付金（市町村課） 15百万円
地方行政のデジタル化の推進や市町村間の広域連携等への支援

3 教育環境の国際化に対する支援

- 国際教育支援事業（私学振興課） 1億47百万円
半導体関連工場の進出による関係生徒受入れに伴う環境整備に
取り組む私立学校等への支援

4 消防力強化の推進

- 消防体制強化推進事業（消防保安課） 4百万円
消防指令共同化を推進するための財政支援
- 消防学校教育訓練機能強化事業（消防保安課） 7億3百万円
主訓練塔及び補助訓練塔の建設に要する費用

【企画振興部】令和5年度主要事業

R5予算額 138億3百万円
[R4予算額 96億3百万円]

- 熊本地震及び豪雨災害からの創造的復興、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先に取り組む
- 「新しいくまもと創造に向けた基本方針」に基づき、将来の熊本の発展につなげるための取組みを行う

I 令和2年7月豪雨からの創造的復興

① 緑の流域治水の推進

- ・「緑の流域治水」の見える化・周知広報等（勉強会の実施等）
59百万円

② 球磨川流域復興基金を活用した市町村への支援

- ・球磨川流域復興基金交付金
12億57百万円

③ 五木村の振興

- ・五木村復興基金積立金
6億1百万円
- ・五木村復興交付金交付事業
10億円

④ 被災者の住まいの再建への支援

- ・被災住宅移転促進宅地整備受託事業
5億8百万円

⑤ くま川鉄道の早期復旧

- ・くま川鉄道災害復旧支援事業
5億53百万円



⑥ 豪雨からの復興に向けた地域づくりの取組みへの支援

- ・地域づくり夢チャレンジ推進補助金
・スクラムチャレンジ推進補助金
40百万円

II 熊本地震からの創造的復興

① 阿蘇くまもと空港のコンセッション導入効果の最大化、空港アクセス改善

- ・阿蘇くまもと空港創造的復興推進事業
36百万円
- ・阿蘇くまもと空港アクセス鉄道整備調査検討事業
2億61百万円



III 新型コロナウイルス感染症への対応

① 県庁の働き方改革

- ・ICTを活用した働き方改革等推進事業



62百万円

IV その他基本方針に沿った取組み

① 地方創生の推進

- ・ S D G s 推進事業



25百万円

② 移住定住の促進

移住

- ・ 仮想空間の活用可能性調査事業（新）
- ・ 高校卒業生に向けた情報発信事業（新）
- ・ くまもと暮らしお試し移住応援事業（拡）
- ・ 「すまい」「課題解決」等支援事業（拡）



4百万円
9百万円
14百万円
46百万円

③ 水俣・芦北地域の振興

- ・ 「環境首都」水俣・芦北地域創造事業 3億21百万円
- ・ 水俣・芦北地域重点施策課題解決推進事業（拡） 1億68百万円

④ 地域の伝統文化の継承支援

- ・ 伝統文化等継承対策事業



6百万円

⑤ 阿蘇の世界文化遺産登録の推進

- ・ 世界文化遺産登録推進事業のうち「阿蘇」の世界文化遺産登録推進（拡） 89百万円
- ・ 持続可能な草原維持システム構築推進事業（拡） 25百万円



⑥ 離島振興

- ・ 御所浦地域活性化推進事業
- ・ 御所浦航路振興事業
- ・ 湯島活性化推進事業
- ・ 湯島航路振興事業



17百万円
1億14百万円
2百万円
5百万円

⑦ 空港機能の強化に向けた取組み

- ・ 阿蘇くまもと空港国際線振興対策事業 3億63百万円
- ・ 阿蘇くまもと空港国内線対策事業 26百万円



⑧ 交通ネットワークの強化に向けた取組み

- ・ 菊池南部地域交通渋滞対策事業（新） 31百万円

⑨ 産学行政のDX推進プロジェクト

DX

- ・ データ連携基盤構築等推進事業（新） 66百万円
- ・ くまもとDXグランドデザイン推進事業（拡） 74百万円



⑩ 庁内の業務プロセス改革

DX

- ・ I C Tを活用した働き方改革等推進事業（拡） 31百万円



【健康福祉部】令和5年度主要事業

R5 予算額 2,322億54百万円 R4.2補(経済対策分) 41億25百万円
[R4予算額 2,280億78百万円]

- 新型コロナ対策については、感染拡大防止と社会経済活動の両立を目指して、保健・医療提供体制の整備を進めていく
- 市町村と連携した子ども・子育て施策を強力に進めるとともに、先を見据えた医療・福祉基盤の整備と、「地域共生社会」の実現に向けた取組みを加速化する

I. 令和2年7月豪雨からの創造的復興

- 仮設住宅等に入居する被災者を訪問し、生活や住まいの再建を伴走型で支援するとともに、引き続き心のケアにも取り組む
- 球磨村唯一の特別養護老人ホーム千寿園の施設の復旧を支援

1 住まいの再建・被災者への支援

- 住まいの再建支援 4億76百万円
 - 被災者の住まいの再建方法に応じた県独自の支援策を実施
- 地域支え合いセンターによる被災者の見守り 36百万円
 - 被災者の生活再建に寄り添うため、見守り活動や総合相談受付等に取り組む
地域支え合いセンター（被災市町村7か所に設置）の活動を支援
- 被災者の心のケア 5百万円
 - 被災者の心のケアのため、専門職による相談対応、市町村支援



(球磨村仮設団地)



(地域支え合いセンターの訪問)

2 豪雨被害からの復旧

- 特別養護老人ホーム千寿園の復旧支援 71百万円
 - 被災した特別養護老人ホーム千寿園の復旧に係る費用を支援

II. 熊本地震からの復興

- これまで99.9%の方が住まいの再建を果たされており、引き続き最後のお一人が住まいの再建を成し遂げられるまで寄り添って支援

1 住まいの再建

- 住まいの再建支援 91百万円
 - 被災者の住まいの再建方法に応じた県独自の支援策を実施

III. 新型コロナウイルス感染症への対応

- 感染拡大にも十分対応できる検査体制、医療提供体制を確保・充実させるとともに、保健所機能の強化を図る
- 市町村が進めるワクチン接種が迅速かつ円滑に進められるよう支援

1 検査体制・医療提供体制等の整備

- 積極的かつ迅速に検査を実施できる体制の整備 74億57百万円
 - 感染拡大に備えて診療・検査体制を強化するとともに、感染拡大時に感染に不安を感じる県民を対象とした無料PCR等検査体制を整備
- 県民の命を守る医療提供体制の確保 486億91百万円
 - 県民の命を守ることを第一に適切な医療資源を提供するため、入院病床と宿泊療養施設を確保するとともに、入院受入医療機関の設備整備を支援
- 感染拡大に対応するための保健所の体制確保 34億27百万円
 - 保健所が感染拡大に対応するため、業務支援を行う人材を確保する他、発熱患者への電話相談体制や自宅療養者へのフォローアップ体制を整備

※令和4年度予算からの一体的な対応として、入所施設等の集中的検査の実施や医療支援・業務継続支援チームを派遣



(コロナ検査研修)



(人工呼吸器)



(高齢者施設業務支援チーム)

2 円滑なワクチン接種の推進

- 新型コロナワクチン接種体制の整備 43億73百万円
 - 専門的相談窓口や大規模接種会場の設置・運営等により、市町村が進めるワクチン接種を支援



(ワクチン接種)



IV. 将来に向けた地方創生の取組み

- こども家庭庁設置による「こどもまんなか社会」の実現に向けた機運の高まりを捉え、市町村と連携し、子ども・子育て施策を強力に推進
- 団塊ジュニア世代が高齢者となり、生産年齢人口の急減が見込まれる2040年を見据え、医療・福祉分野の基盤を整備
- 急速な少子高齢化が進む中においても、地域で互いに支え合い、安心して暮らせる地域共生社会の実現に向けた取組みを加速化

1 「こどもまんなか」の実現に向けた子ども子育て施策の充実

○ 市町村と連携した子ども・子育て施策の充実

9億92百万円

- 市町村の子ども・子育て施策の充実・強化を図る環境を整えるため、子ども医療費助成に取り組む市町村への補助を拡充
- 悩みや不安を抱える子育て家庭等の支援のため、市町村が行う相談機関の整備・運営等の取組みを支援
- 子どもの居場所確保のため、市町村が行う子ども食堂等への助成を支援



○ 子どもを取り巻く課題の解決

3億3百万円

- 児童虐待の未然防止・早期対応を図るため、市町村・児童家庭支援センター・児童相談所の三層による相談支援体制をさらに強化
- 措置された子ども等が安心して過ごせるよう、児童養護施設等の高機能化や多機能化、職員の資質向上のための研修を実施するほか、里親委託を推進

2 先を見据えた医療・福祉基盤の整備

○ 医療・介護人材の確保と勤務環境改善

14億71百万円

- 県民が安心して地域で生活できる医療・福祉基盤の整備のため、事業者等と連携した人材確保を進めるとともに、従事者の勤務環境改善をより一層推進



○ 在宅医療の充実

1億5百万円

- 県民の在宅での療養生活を支えるため、在宅医療サポートセンターを支援し、医療と介護の連携や専門職の人材育成等を推進
- 訪問看護提供体制の安定化等のため、県看護協会に訪問看護ステーション等を支援する機関を設置



○ 健康づくり・循環器病対策の推進

38百万円

- 県民の健康寿命の延伸のため、県民総参加で健康づくりを推進する「くまもとスマートライフプロジェクト」を引き続き展開
- 医療機関の循環器病に係る診療及び患者支援機能の強化を図るため、熊大に専門機関を設置



3 自助・共助・公助により支え合う地域共生社会の実現

○ 地域共生社会の実現

2億43百万円

- 地域住民が抱える複雑化・複合化した課題を属性を問わず包括的に支援できる体制を整える市町村を支援
- 地域の支え合いを推進するため、民生委員等の見守り活動や、誰もが集える居場所「地域の縁がわ」づくりを支援



○ 困難を抱える方への支援の拡充

3億32百万円

- ・ 自殺を予防するための相談体制の拡充
 - 電話相談の対応時間を拡充
- ・ 生活困窮者等の自立支援
 - 貧困の連鎖を教育で断つため、子どもの学習支援の機会を拡充
- ・ ひきこもり支援に向けた積極的なアプローチ
 - 家庭内でひきこもり問題を抱える方を相談支援に繋げるため、SNS等を活用して広報
- ・ 民間シェルターによるDV被害者支援の充実
 - DV被害者の実情やニーズに応じて、柔軟で機動的な活動を行う民間支援団体を支援



○ 動物愛護の推進

6億23百万円

- 殺処分ゼロを目指すため、猫の避妊去勢手術の補助や動物愛護の啓発、愛護団体等と連携した譲渡会を実施
- 県の動物愛護の拠点として、動物愛護教室や犬猫の譲渡を行う新動物愛護センターを整備（令和6年3月開所予定）



○ 移植医療の普及・推進

13百万円

- 臓器移植に対する理解と協力を得るための普及啓発を図るとともに、移植医療に係る体制を確保



○ 熊本県国民健康保険運営方針等の策定・推進

2百万円

- 「熊本県国民健康保険運営方針」及び「第4期医療費の見通しに関する計画」に基づく医療費適正化等の推進

【環境生活部】令和5年度主要事業

R5予算額 149億89百万円
[R4予算額 152億8百万円]

R4.2補（経済対策分）41百万円

- 環境や生活の視点から、県民の生活を守り、快適で安全安心な暮らしの実現に向けた施策を展開することにより、将来世代にわたり幸せを実現できる新たな熊本の創造を目指す

I 水俣病問題の解決

①医療・健康管理対応	86億58百万円
②保健・福祉の向上	1億73百万円
③地域の再生・融和の推進	32百万円
④認定審査の推進	1億59百万円

〔水俣病保健課、水俣病審査課〕

- ・認定審査を着実に進めるとともに、被害者への医療費の支給、患者の方々やそのご家族への日常生活支援及び情報・教訓の発信等に取り組む

II 令和2年7月豪雨からの創造的復興

①球磨川流域ゼロカーボン先進地創出事業〔環境立県推進課〕 36百万円

- ・家庭でのCO2削減を促進するため、球磨川流域をモデル地域に一定基準以上の断熱住宅リフォーム等に対する補助

②流水型ダム環境影響評価審査費〔環境保全課〕 4百万円

- ・川辺川で計画されている流水型ダムについて、「流水型ダムに係る環境影響評価審査会」を開催し、法と同等の審議を実施

③被災地域営水道等衛生確保支援事業〔環境保全課〕 1百万円

- ・豪雨災害で被災した地域営水道及び飲用井戸等について、復旧後の水質検査を順次実施



国立公園における国際化・老朽化対策等整備交付金事業

④九州自然歩道利用促進対策事業〔自然保護課〕 7百万円

- ・球磨川流域の豊かな自然、歴史文化を体感できる九州自然歩道の標識等の改修を実施

⑤国際化・老朽化対策等整備事業〔自然保護課〕 44百万円

- ・九州中央山地公園において、公園施設（市房山麓野営場）の再整備を行い、誘客を推進



III 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

①多重債務者等生活再生支援事業〔消費生活課〕 16百万円

②災害関連消費生活相談機能強化事業〔消費生活課〕 3百万円

- ・豪雨やコロナ禍で増加する多重債務を抱える県民からの相談や消費者トラブルに対応し、解決支援のため相談体制を強化



IV 熊本地震からの復旧・復興

阿蘇くじゅう国立公園の創造的復興

国立公園満喫プロジェクト推進事業〔自然保護課〕 1億54百万円

- ・阿蘇くじゅう国立公園における訪日外国人及び国内観光客の誘客、ウィズコロナ・ポストコロナ時代への対応を図るため、公園内の施設整備等を行い、受入環境の向上に取り組む

V 将来に向けた地方創生の取組み

1 ゼロカーボン社会・くまもとの実現



(1) 家庭分野の取組み推進

- ① **県民ゼロカーボン行動促進事業**〔環境立県推進課〕 **18百万円**
・「2050年県内CO₂排出実質ゼロ」実現のため、住まいのゼロカーボン化の推進、廃食油資源ごみ回収実証事業等
- ② **食品ロス削減推進事業**〔消費生活課〕 **10百万円**
・「県食品ロス削減推進計画」に沿って消費者教育や広報啓発を行い食品ロス発生抑制の県民運動の機運を醸成



(2) 産業分野の取組み推進

- ① **2050くまもとゼロカーボン推進事業**〔環境立県推進課〕 **2百万円**
(産業ゼロカーボン連携促進事業 計画書制度排削減事業)
・企業間連携によるCO₂削減促進や中小企業への横展開、改正した事業活動計画書制度による事業者の省エネ設備への転換促進
- ② **高純度BDF普及啓発利用促進事業**〔循環社会推進課〕 **3百万円**
・重機等のリース事業者に高純度BDFの有効性・安全性を重点的にPRし、熊本発の高純度BDFの利用を促進
- ③ **リサイクル製品等利用促進事業**〔循環社会推進課〕 **35百万円**
・品質・安全性等を満たすリサイクル製品の認証及びリサイクル促進につながる施設整備の支援を実施



(3) 県の率先行動推進

- ① **2050くまもとゼロカーボン推進事業**〔環境立県推進課〕 **21百万円**
(県有施設への再エネ導入推進事業、地域脱炭素移行・再エネ推進事業等)
・球磨川流域の県有施設(八代・芦北・球磨局)への再エネ設備の導入(初期投資ゼロモデルを活用)
・県有施設の脱炭素化及び市町村支援
・公用車に電気自動車(EV)を導入するために必要な充電設備整備



4 移住定住

くまもとの女性活躍促進事業 〔男女参画・協働推進課〕 **11百万円**

- ・女性活躍交流促進事業「ヒゴロッカサミット」の開催により、女性が生き生きと活躍できる熊本の魅力について語り合うとともに、女性が活躍できる熊本の魅力を県内外に発信し、若い女性の移住定住につなげる



2 熊本の豊かな自然環境の保全・活用

(1) 半導体関連企業の進出に伴う地下水保全対策の強化

- ① **熊本地域地下水保全協働推進事業**〔環境立県推進課〕 **16百万円**
・水田湛水期間延長・面積拡大等の推進
- ② **半導体関連企業の集積に伴う地下水保全対策事業**〔環境立県推進課〕 **83百万円**
・水環境のシミュレーションによる具体的対策や広域的影響の検討・検証
・早期に対策を検討できるよう、地下水観測体制を強化



(2) 有明海・八代海の再生等

- ① **有明海・八代海再生推進連携事業**〔環境立県推進課〕 **13百万円**
・大学・漁協と連携した河川上流の砂礫を活用した干潟の底質改善効果の実証事業等

3 県民の生活を守り安全安心な暮らしの実現

交通安全

- ① **高齢運転者安全運転支援装置等設置推進事業**〔くまの安全推進課〕 **36百万円**
・事故等の抑止、安全意識向上を図るため、後付けの踏み間違い防止装置及びドライブレコーダーの導入支援
- ② **食品品質表示指導事業**〔くまの安全推進課〕 **14百万円**
・食品表示に係る制度等の周知・啓発、必要な調査・指導等の産地偽装根絶の取組みを継続し、新たな産地偽装を防止
- ③ **消費生活相談・啓発事業**〔消費生活課〕 **41百万円**
・国による「靈感商法等の悪質商法への対策検討会」等を踏まえ、相談体制の充実を図り消費者トラブルの解決に向けた支援を実施
- ④ **熊本県人権月間をばねとする広報・啓発の推進等**〔人権司政策課〕 **47百万円**
・熊本県人権教育・啓発基本計画に沿って、人権課題についての広報・啓発や研修を推進



【商工労働部】令和5年度主要事業

R5予算額 719億1百万円

[R4予算額 810億9百万円]

R4.2補(経済対策分) 95億18百万円

- 県経済の安全保障を支える持続可能な事業推進体制の構築と、その強化につながる半導体関連産業の集積促進
- 熊本地震、令和2年7月豪雨災害からの創造的復興及び新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者の事業継続に向けた支援

1 熊本地震からの創造的復興

(1) 「くまもとの産業」の復興発信・人材の確保

- ・「くまもと産業復興エキスポ(仮称)」**[新]**【商工政策課】
熊本地震からの復旧・復興の発信及び県内企業の認知度向上、県内就職率アップ等を目指すイベントの開催

50百万円



(2) 被災事業者の復旧・復興に向けた支援

- ・中小企業等復旧・復興支援事業【商工振興金融課】
益城町の土地区画整理事業の影響により、令和5年度の申請となる被災事業者への県単独事業による復旧支援

1億16百万円

2 令和2年7月豪雨からの創造的復興

(1) 被災事業者のなりわい再建に向けた支援

- ① くまもと型小規模事業者経営発展支援事業【商工振興金融課】 1億円
被災事業者の本格的な経営再建のため、販路拡大や生産性向上等の取組みを支援

<R4.2補>

- ② なりわい再建支援事業【商工振興金融課】 90億73百万円
公共工事の影響等により、令和5年度の申請となる被災事業者に対する復旧支援

3 新型コロナウイルス感染症への対応



(1) 中小企業者の事業継続等への支援

- ① 飲食店の感染防止対策に係る認証事業【商工政策課】 22百万円
感染防止のための県内統一基準による認証制度の継続
- ② 新型コロナ対応雇用維持・確保支援事業【労働雇用創生課】 46百万円
採用力向上(女性等人材確保)のための企業への伴走型支援
- ③ 事業継承マッチング応援事業**[新]**【商工振興金融課】 5百万円
商工会等が実施する市町村と連携した事業承継促進に係る取組みへの支援
- ④ 商店街多様化推進事業**[新]**【商工振興金融課】 10百万円
商店街自らが特色を活かし、地域や住民のニーズに応える多様性のある商店街に進化させていく取組みへの支援

<R4.2補>

- ⑤ まちなかにぎわい回復支援事業【商工振興金融課】 3億45百万円
商店街組織等による、まちなかにぎわい回復に資するイベント等への支援

(2) 原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への支援

<R4.2補>

- ① 中小企業DX推進事業補助金**[新]**【産業支援課】 1億円
物価高騰等の影響を受ける中小企業のデジタル化に係る機器整備を支援
- <令和4年度繰越予算>
- ② 中小企業者価格転嫁推進事業【商工振興金融課】 58百万円
価格転嫁しやすい環境整備のための専門家派遣や広報に係る取組みを支援

【商工労働部】令和5年度主要事業

4 その他基本方針に沿った取組み

(1) TSMC進出効果の最大化に向けた取組み

- ① 半導体サプライチェーン構築加速化事業【企業立地課】 40百万円
半導体関連企業の集積を加速化させるためのセミナーやPRの強化
- ② 工業団地施設整備事業【企業立地課】 24億97百万円
大規模製造業等誘致の受け皿となる工業団地の新規整備

(2) UXプロジェクトの推進

- ・ 熊本空港周辺地域における産業振興創出事業【産業支援課】 1億30百万円
空港周辺地域を拠点に、ライフサイエンス分野を中心とした新たな産業の創出を目指す「UXプロジェクト」の推進



(3) 県内企業におけるDXの推進

- ・ 第4次産業革命推進事業【産業支援課】 72百万円
県内企業の人手不足解消に向けたDXによる生産性向上の推進

(4) ゼロカーボン社会・くまもとの構築

- ① 地域共生型再エネ導入推進事業【エネルギー政策課】 67百万円
風力発電の立地に係るゾーニングの実施
- ② RE100電力供給・利用促進事業【エネルギー政策課】 3百万円
「再エネ100宣言RE Action」取得検討企業向け勉強会やアドバイザー派遣の実施

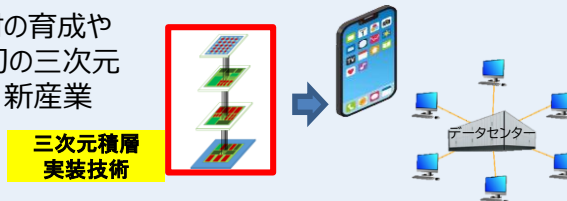


(5) 半導体産業の人材確保・育成強化

- ① 熊本県半導体人材育成会議等活動事業【新】【労働雇用創性課】 9百万円
県半導体人材育成会議を中心とした人材育成の実施
- ② 技術短期大学校新学科整備推進事業【新】【労働雇用創性課】 18百万円
「半導体学科」の新設に向けた施設整備
- ③ 第4次産業革命推進事業【産業支援課】 72百万円（再掲）
県内企業の人手不足解消に向けたDXによる生産性向上の推進

(6) 半導体産業の技術力向上及び新たな産業創出

- ① くまもと半導体産業推進ビジョン推進事業【新】【産業支援課】 3百万円
「くまもと半導体産業推進ビジョン」の進捗管理及び国際連携の推進
- ② 半導体産学官連携推進事業【新】【産業支援課】 6億95百万円
大学等と連携し、半導体人材の育成や共同研究の強化による国内初の三次元積層実装の量産化を確立し、新産業創出を支援
- ③ 中小企業半導体サプライチェーン強化事業【新】【産業技術センター】 15百万円
県内半導体サプライチェーン網と関連中小企業の技術力強化を支援
- ④ くまもとクロス支援事業【拡】【産業支援課】 55百万円
県内中小企業が半導体サプライチェーン強靱化を目指して行う技術力強化に係る研究開発を支援



【観光戦略部】令和5年度主要事業

R5予算額 27億95百万円

[R4予算額 26億25百万円]

R4.2補（経済対策分）21億60百万円

- (1) TSMC進出の効果を生かしながら、コロナ前水準を目指した観光需要の復活、新たな観光スタイルの確立に向けた取組を推進
- (2) 県産品輸出額110億円の実現などに向け、海外・国内における販路を拡大

1 熊本地震からの創造的復興

(1) 震災ミュージアム中核拠点施設のオープン

- ① 震災ミュージアム具体化推進事業、中核拠点整備事業

【観光交流政策課】1億24百万円

指定管理者による中核拠点施設の運営開始、オープニング式典 等

(2) ONE PIECE熊本復興プロジェクト

- ① ONE PIECE連携復興応援事業

【観光交流政策課】71百万円

麦わらの一味の像及びコラボ列車（南阿蘇鉄道）などを活用した周遊促進施策 等



©尾田栄一郎/集英社

(3) 教育旅行の地震前水準への回復

- ① 教育旅行誘致推進事業(拡)【観光振興課】33百万円

新規校への宿泊費等の助成、SDGsなどニーズの高い教育旅行プログラムの強化及びセールス 等

2 令和2年7月豪雨からの創造的復興

(1) 需要喚起策・観光地域づくり

- ① 豪雨被災地域観光復興応援事業（新）【観光振興課】2月補正

5億12百万円

被災地域への宿泊旅行、交通付宿泊旅行又は着地型商品付宿泊旅行の助成 等

- ② 被災地域の更なる魅力創造事業【観光企画課】2月補正

60百万円

観光商品開発、ガイド育成、観光客受入体制構築 等

- ③ 球磨焼酎リブランディング事業【販路拡大ビジネス課】

42百万円

球磨焼酎のトップブランド化に向けた魅力発信や販路拡大支援 等

3 新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 需要喚起策・事業者支援

- ① 宿泊事業者燃料高騰等対策支援事業【観光企画課】2月補正

9億20百万円

宿泊業者による省エネ設備、省エネ・省力化につながるシステム等の導入への助成

- ② 旅するくまモンパスポート事業【観光振興課】2月補正

1億23百万円

旅行者の県内周遊を促進するため、非接触型のデジタルクーポン『旅するくまモンパスポート』を展開



- ③ 新たな旅のスタイル促進事業【観光振興課】

23百万円

新たな旅のスタイルであるワーケーションを推進するため、企業ニーズに対応したワーケーション素材の磨き上げ、首都圏企業へのセールス 等

※インバウンド関係は「TSMC進出を踏まえた取組」に記載

(2) 観光DX（スマートツーリズム）の推進

- ① スマートツーリズム基盤創生・活用事業（新）

【観光企画課】11百万円

県の観光施策に関する成果を蓄積、可視化するデータ基盤の構築

- ② デジタルマーケティング事業【観光企画課】57百万円

旅行者の趣向に合わせた情報発信による誘客促進

- ③ スマート観光交通体系構築推進事業【観光企画課】

43百万円

本県における持続可能な観光MaaSの構築を目指した実証の実施

【観光戦略部】令和5年度主要事業

4 将来に向けた地方創生の取り組み

(1) 新しい観光コンテンツの確立

① 「マンガ県くまもと」構想推進事業（拡）【観光交流政策課】

39百万円

県にゆかりのあるマンガ・アニメ等のコンテンツを活用した誘客促進 等

② 国際バドミントン大会誘致促進事業（拡）【観光企画課】

1億2百万円

国際バドミントン大会（熊本マスタースジャパン）の開催

③ ツール・ド・九州受入環境整備事業（拡）【観光企画課】

1億24百万円

ツール・ド・九州2023大会開催、機運醸成イベント 等



(2) クルーズ船誘致の促進

① クルーズ船誘致促進事業(拡)【観光振興課】33百万円

クルーズ船ポートセールスの推進、ツアーバス高速利用料及び借上代助成 等

(3) 県産品の販路拡大



① 県産農林水産物等輸出推進総合支援事業（拡）

【販路拡大ビジネス課】86百万円

輸出ステージに応じた県内事業者への伴走型支援 等

② 首都圏等県産品販路拡大事業（拡）

【販路拡大ビジネス課】34百万円

都市圏百貨店・飲食店等と連携したくまもとフェア開催、商品開発等

③ GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト事業（新）

【販路拡大ビジネス課】1億円

JAグループと連携した旗艦的な輸出産地のモデル形成支援

④ くまもと県産品消費喚起緊急支援事業（新）

2月補正

【販路拡大ビジネス課】1億65百万円

県内事業者が行う県産品・県産酒の消費喚起の取組への助成

【TSMC進出を踏まえた取組み】

(1) インバウンド回復に向けた取組

① 台湾インバウンド誘客強化事業（新）【観光振興課】

65百万円 一部2月補正

台湾（台北）における観光レップ（現地代理人）の設置、旅行商品の造成・販売支援、台湾からの教育旅行における受入体制の構築

② インバウンド地域戦略策定事業（新）【観光振興課】20百万円

コロナ禍で変容したインバウンドの市場需要及び県内の受入環境の調査・分析を実施し、ポストコロナの本県インバウンド戦略を策定

(2) 国際交流・多文化共生の推進

① 海外企業進出を踏まえた国際交流・多文化共生推進事業（新）

【観光交流政策課】40百万円 2月補正

多文化共生のための交流イベント等の助成、外国人を対象とした県内周遊モニターツアー

② 熊本県多文化共生支援事業（拡）【観光交流政策課】

30百万円

オンラインでの初級日本語教室（教室型）の開設、市町村が設置する外国人受入れのための連絡協議会へのアドバイザー派遣 等

(4) 観光地の再生に向けた支援

① 熊本の温泉街リブランディング事業（新）【観光企画課】

10百万円

県内の温泉街のうち、モデル地域を選定し、現状分析・課題整理を行い、温泉街再生基本構想を策定

【農林水産部】令和5年度主要事業

R5予算額 704億22百万円
[R4予算額 729億31百万円]

R4.2補(経済対策分) 57億30百万円

- 令和2年7月豪雨や熊本地震からの復旧・復興を着実に進めるとともに、新型コロナウイルス感染症等による影響を受けた農林水産業者の経営維持・再建を図る
- 本県の農林水産業を持続的に維持・発展させるため、環境への負担軽減を前提とした「稼げる農林水産業」の実現を目指す

1 令和2年7月豪雨・熊本地震からの創造的復興

① 田んぼダムの取組み

- 田んぼダム普及・拡大推進事業(農村計画課) 17百万円
- 農業生産基盤整備事業(農地整備課) 39百万円
 - ・ 流域治水対策の一環である田んぼダムの取組みの普及・拡大のため、基盤整備、人材育成、普及啓発活用活動等に対する支援



② 農林水産関連施設等の早期復旧

- 団体営農地等災害復旧事業費(農地整備課) 11億76百万円
 - ・ 被災した農地等の復旧(市町村事業への補助)
- 過年林道災害復旧事業(林業振興課) 24億20百万円
 - ・ 被災した林道の復旧(市町村事業への補助)
- 治山激甚災害対策特別緊急事業(森林保全課) 22億48百万円
 - ・ 崩壊した山腹や荒廃した溪流の復旧

③ 大切畑ダムの早期完了

- 県営農地等災害復旧事業<地震>(農地整備課) 26億13百万円
 - ・ 熊本地震で被災した大切畑ダムの復旧

2 新型コロナウイルス感染症等への対応

① 農林水産業者の経営維持・再建に向けた支援

- 収入保険加入緊急支援事業(団体支援課) 53百万円
- 2補 収入保険の保険料助成・普及啓発を行う県農業共済組合への助成
- 攻めの園芸緊急生産対策事業(農産園芸課) 1億43百万円
- 2補 新型コロナウイルス及び物価高騰の影響を受けた園芸作物のPQCの最適化に必要な施設整備や機械導入等に対する助成
- 県産麦安定生産体系構築支援事業(農産園芸課) 58百万円
- 2補 食料安定供給に向けた生産拡大のため、小麦の高品質産地づくりの取組み及びほ場の排水対策に必要な機械導入に対する助成

○ 脱炭素型施設園芸緊急対策事業(農産園芸課) 1億7百万円

- ・ 燃油価格高騰の影響を受けにくい栽培体系への転換を推進するため、ヒートポンプ等の省エネ機器の導入及び木質バイオマス安定供給支援に対する助成

○ 森林再生支援事業(森林整備課) 59百万円

- ・ 再造林又は下刈りの取組み拡大を行う森林組合等を支援

② 県産農林水産物の販路拡大

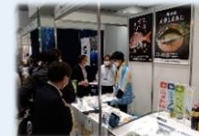
- 「くまもとの牛肉」首都圏流通ルート開拓支援事業(畜産課) 17百万円
 - ・ 県産銘柄牛の認知度向上等のため、首都圏出荷に向けた取組みに対する助成
- くまもとの魚海外市場ターゲット拡大事業(水産振興課) 5百万円
 - ・ 県産水産物の輸出促進の取組みに対する助成



ブームスプレー
(防除同時施肥)



「くまもとの牛肉」首都圏出荷



県産水産物の商談

3 その他主要事業等

<「食料安全保障の一翼を担うくまもと」に向けた4つの挑戦>

① 食料自給率向上に直結する更なる取組み

- 耕畜連携飼料増産推進モデル事業(畜産課) 48百万円
- 2補 耕畜連携による飼料の生産・調整及び堆肥の利用に取り組む耕種農家等集団に対する支援

② 偽装根絶からフードバリューチェーンの構築へ

- フードバリューチェーン構築推進事業(流通アグリビジネス課) 9百万円
 - ・ フードバリューチェーン全体を最適化し、県産農林水産物等の付加価値を高める取組みの支援

③ あさりの資源回復と流通推進のための取組み

○ 県産あさり資源回復事業（水産振興課） 19百万円

- ・ 蓄養から漁業に転換するための生産体制の構築とあさり資源の保全・育成に係る取組みへの支援

○ 県産あさり流通推進事業（水産振興課） 49百万円

- ・ 産地偽装防止のため、県漁連と連携して、認証制度、監視等を適切に実施するとともに、持続可能な熊本モデルの運用体制を構築に要する経費



あさりブランドシール



網袋の設置・管理

④ 「緑の雇用」の促進

○ 豊かな森林づくり人材育成事業（林業振興課） 16百万円

- ・ 労働者への待遇改善（3%以上の賃金UP）を行った林業事業体が、造林・保育作業を行う労働者に対して法定外福利厚生を取組みを支援

<弛まず取り組む課題>

① 食料生産の要となる担い手の確保

○ 新規就農者育成総合対策事業（農地・担い手支援課） 2億27百万円

- ・ 就農時の生産体制確立及び新規就農者へのサポート体制の整備に対する助成

○ くまもと林業大学校人財づくり事業（林業振興課） 1億42百万円

- ・ 林業に必要な技術と現場力を兼ね備えた即戦力となる人材や幅広い林業担い手の確保・育成を図るための「くまもと林業大学校」の設置・運営に要する経費

○ 未来の漁村を支える人づくり事業（水産振興課） 17百万円

- ・ 新規就業希望者等に対する漁業研修等に要する経費及び新規漁業就業者の確保・育成の取組みに対する助成



林業における人材育成（林業大学校）

② 競争力・ブランド力の強化

○ スマート農業導入加速化事業（農業技術課） 42百万円

- ・ スマート農業推進のための各種技術の構築、現地実証と普及及び担い手への周知等に要する経費



1人で2台を稼働

○ 次世代林業・担い手強化支援事業（林業振興課） 36百万円

- ・ 林業事業体が新技術を活用した林業イノベーションを進めるための研修会開催等に係る経費及び機械導入に対する助成

○ スマート養殖業普及拡大事業（水産振興課） 23百万円

- ・ 魚類養殖におけるICTを活用した自動給餌システム等の技術開発等に対する助成

○ 産地パワーアップ事業（農産園芸課） 20億円

- 2補 収益力向上に一体的かつ計画的に取り組む産地の生産体制強化に向けた施設整備等に対する助成



集出荷施設の整備

○ 畜産クラスター事業（畜産課） 4億33百万円

- 2補 畜産クラスター計画を策定した地域において、収益性向上等に必要施設整備や経営の継承等を支援

③ みどりの食料システム戦略

○ 熊本型みどりの食料システム戦略推進事業（農業技術課） 1億10百万円

- ・ 循環型農業を実現するため、新技術の開発・実証普及や有機農業の生産拡大の支援等に要する経費

○ 森林吸収量クレジット化推進事業（森林整備課） 16百万円

- ・ 森林吸収量のクレジット化に向けた制度の周知や申請手続きの指導に要する経費



仕事づくり（生産・商品化・販売）

④ 持続可能な中山間地域づくり

○ 農村RMO形成推進事業（むらづくり課） 14百万円

- ・ 農村型地域運営組織（農村RMO）形成の支援等に要する経費

○ スーパー中山間地域創生事業（むらづくり課） 56百万円

- ・ 本県中山間地域の「広告塔」となるスーパー中山間地域の創生に要する経費

<その他>

○ 農林水産業BDF利活用実証事業（農林水産政策課） 2百万円

- ・ 研究機関等におけるBDF導入の検証及び情報発信に要する経費

○ くまもと農地GIS利活用DX推進事業（技術管理課） 13百万円

- ・ GIS業務データの作成、データ共有環境構築及びデータ連携に係る経費

○ 原木しいたけ生産DX実証事業（林業振興課） 8百万円

- ・ 原木しいたけ生産効率化のための環境データ収集、試験施設整備及び関連システムの整備に要する経費

○ 山地災害情報共有システム構築事業（森林保全課） 25百万円

- ・ 山地災害情報共有のための調査アプリの開発及びデータ連携に係る経費

<牛深ハイヤ大橋関連>

○ 水産物供給基盤機能保全事業費（漁港漁場整備課） 12億81百万円

- ・ 漁港施設の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減と平準化に要する経費



【土木部】令和5年度主要事業

R5予算額 1,039億10百万円
 [R4予算額 956億94百万円]

R4.2補（経済対策分）68億42百万円

I 令和2年7月豪雨災害からの創造的復興

**施策 1 被災者・被災地域の 1 日も早い
復旧・復興に向けた取組み**

① 緑の流域治水の推進

○河川改良など〔河川課〕 52億17百万円

- ・流域治水プロジェクトや河川整備計画に基づき、治水対策(ハード・ソフト対策)等を着実に実施

○砂防施設の整備【砂防課】 17億23百万円
土石流災害防止のための砂防堰堤等整備を行い、再度の土砂災害を防止



【河川】御溝川二次放水路整備(人吉市)

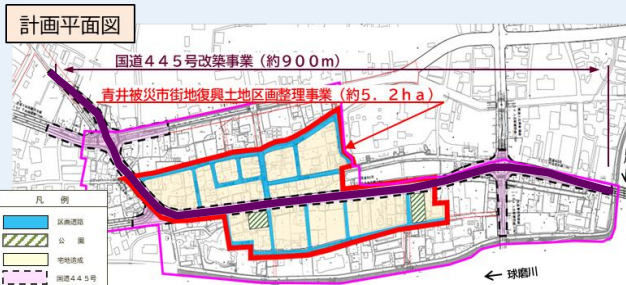


【砂防】川内川砂防堰堤整備(球磨村)

② すまい・コミュニティの創造

○土地区画整理〔都市計画課、道路整備課〕 11億26百万円

- ・防災性の向上及び良好な市街地形成を図るために、土地区画整理と国道445号の道路改築を一体的に実施



令和2年7月豪雨被災状況

施策2 県内全域で取り組む災害に強い郷土づくり

①県内各地を結ぶ「命の道」等の計画的な整備

○道路ネットワークの整備〔道路整備課〕 199億72百万円

- ・中九州横断道路、九州中央自動車道等の整備による九州の横軸の更なる強化
- ・県管理道路におけるリダンダンシー確保に向けた道路整備

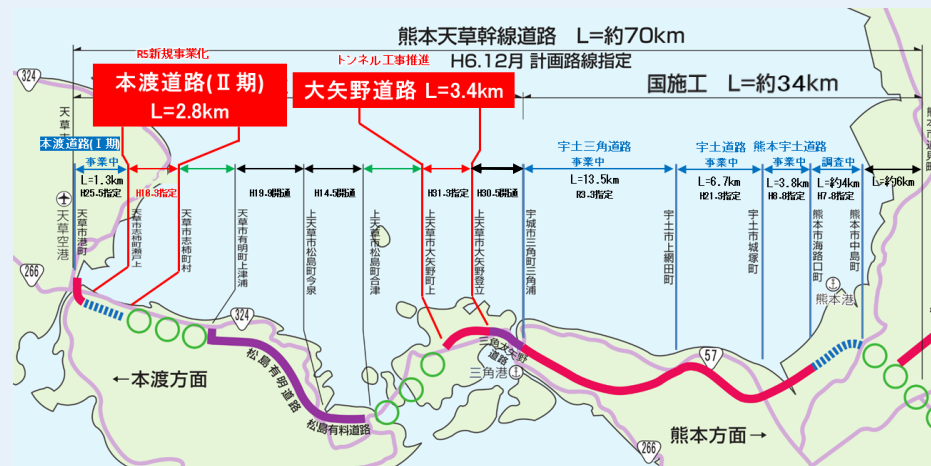


国道325号菊池拡幅(菊池市)

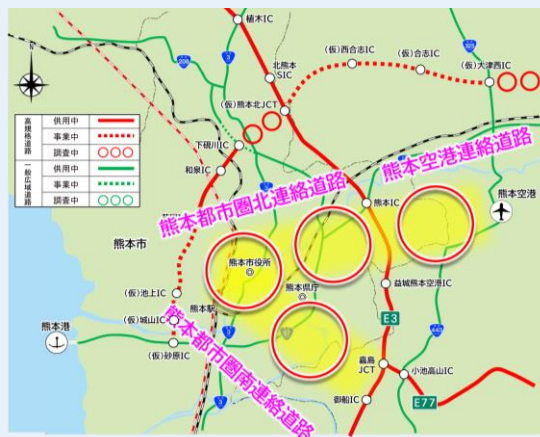
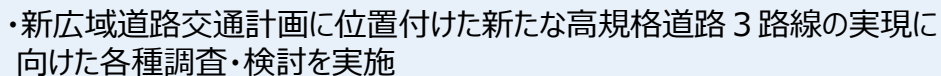


国道389号下田南BP(天草市)

・90分構想の実現に向け、熊本天草幹線道路の整備を着実に推進



- ・ TSMC進出を契機とした今後の企業集積を見据え、熊本都市圏北部の将来の基幹となる道路ネットワークを強化



○ <u>道路施設の保全〔道路整備課、道路保全課〕</u>	116億39百万円
道路・橋りよの老朽化対策などを実施	
○ <u>河川・砂防事業〔河川課、砂防課〕</u>	339億74百万円
頻発化・激甚化する水害等からの被害を防止するため河川事業、砂防事業を実施	
○ <u>港湾整備など〔港湾課〕</u>	42億91百万円
熊本港・八代港等における物流機能・人流機能の強化を実施	

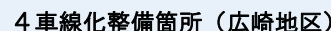


Ⅲ 熊本地震からの創造的復興

益城町の復興まちづくり

○街路整備、土地区画整理〔都市計画課〕 43億31百万円

- ・防災機能や交通円滑化等の向上のため、熊本高森線を4車線化
- ・都市機能集積及び防災機能向上のため、土地区画整理を実施



【警察本部】令和5年度主要事業

R5予算額 399億40百万円

[R4予算額 400億26百万円]

R4.2補（経済対策分）11百万円

- 「新しいくまもと創造に向けた基本方針」に沿った取組みと、喫緊の治安課題への対応
- 科学技術・ICTの発展や新たな生活様式の浸透等、変容する社会情勢に対応するDXや業務イノベーションの推進

I 令和2年7月豪雨災害からの創造的復興

施策1 被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み

- ① 警察統合OAネットワークの一部無線化（新） 1百万円
- ・ 駐在所端末有線LANの閉域網LTE化

- ② 復旧・復興に向けた総合治安対策の推進 28百万円
- ・ 被災地防犯アドバイザーによる防犯活動や相談対応



- ③ 警察施設災害復旧費 3百万円

- ・ 甚大な被害を被った被災者に寄り添い、住民の安全安心を守るための拠点となる警察施設の復旧

八代署坂本駐在所仮事務所の運用

II 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

施策1 感染症対策の体制強化

- 警察活動における感染症対策事業 9百万円
- ・ 留置管理や現場警察活動における感染予防対策



IV 将来に向けた地方創生の取組み

施策3 安全・安心な社会の実現

- ① 交通安全施設等整備費 14億27百万円

- ・ 交通安全水準のさらなる向上に関する宣言決議等を踏まえた横断歩道等の道路標示や信号機の改良等



- ② 交通安全アドバイザー事業（新） 5百万円

- ・ 専任アドバイザー雇用による体験型交通安全教育活動の強化



自転車シミュレーター及び同搭載車両



交通安全教育

- ③ くまもとの「まち」と「ひと」を守る声掛け安心事業 61百万円

- ・ 県警ひまわり隊による声掛け・訪問等の活動

- ④ 電話で『お金』詐欺被害防止のための総合対策 23百万円

- ・ 県民の貴重な財産を守るための意識啓発、注意喚起等の対策推進【主な取組み】

- 1 被害防止コールセンターの運用
- 2 犯行手口や被害世代に応じた媒体(テレビCM、新聞広告、SNS)による積極的な広報の実施

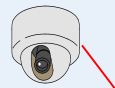


Ⅳ 将来に向けた地方創生の取組み

施策3 安全・安心な社会の実現

⑤ ストーカー・DV等人身安全対策の推進 2百万円

- ・ 防止用監視機器の設置による行為者の迅速な特定と被害者の安心感の醸成、行為者へのカウンセリングによる再犯防止対策の推進



⑥ テロ対策、警備における防護力の強化（新） 6百万円



- ・ 情報共有の合理化・迅速化による警備精度の向上、資機材整備による機動性の強化

【主な取組み】

- 1 警備計画の電子化・ペーパーレス化
- 2 通信資機材等の整備

⑦ 外国人材の受入れ・共生への取組み 15百万円

- ・ 部外通訳や多言語コールセンターの活用等による通翻訳体制の確保とT S M C進出等を踏まえた海外語学研修の充実

⑧ サイバー犯罪対策と経済安全保障の推進 28百万円

- ・ サイバー空間の安全確保に資する専門捜査員の育成や半導体関連産業の集積を見据えた情報管理の強化

【主な取組み】

- 1 民間事業者が実施する技術研修への職員の派遣
- 2 サイバー犯罪捜査用資機材の整備



⑨ 犯罪被害者への支援 8百万円

- ・ 犯罪被害者及びその家族の被害回復及び二次的被害の防止・軽減を図り、社会全体で被害者等を支えるネットワークの構築

⑩ デジタル化の推進による行政サービスの向上 1億57百万円

- ・ 行政のデジタル化による業務の合理化・効率化を図り、県民サービスの更なる向上

【主な取組み】

- 1 ガバメントクラウドの推進による運転免許基幹システムの高度化、免許証自動受付機の導入
- 2 捜査情報管理、人身安全関連業務の高度化
- 3 A I - O C R対象業務の拡充、R P Aの導入



⑪ 済生会総会警備対策事業（新） 4百万円

- ・ 令和6年1月開催予定の「第76回済生会学会・令和5年度済生会総会」における警備対策の実施

⑫ 選挙違反取締りの強化 10百万円

- ・ 令和5年4月予定の統一地方選挙及び令和6年3月予定の熊本県知事選挙における各種違反取締りの実施

⑬ 警察活動の拠点施設の整備 7億28百万円

- ・ 県民の安全・安心の拠り所となる警察署や交番・駐在所等の機能強化、計画的かつ効果的な整備

【主な取組み】

- 1 警察署等における空調設備等の改修工事
- 2 駐在所の統合等機能強化
- 3 運転免許センター受変電設備更新工事



⑭ 上天草警察署整備事業 7億69百万円

- ・ 上天草警察署の現地建替工事（3年目／3か年）

1 基本的な考え方

(1) 熊本地震からの創造的復興

引き続き、被災児童生徒の支援、国・県指定文化財や歴史的建造物等の復旧・復興に取り組む

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応 ～感染症対策と学びの保障の両立「新たな日常」をスタンダードに～

子供たちや教職員が安全安心に過ごせる感染症対策の充実、ICT活用などコロナ禍においても学びを支える環境を整備し、個別最適な学びを推進する

(3) 令和2年7月豪雨からの創造的復興 ～被災地の希望につなげる～

被災児童生徒の支援や心のケアに取り組み、安全安心な教育環境を整備する。また、被災地域の誇りの回復のため、被災した文化財等の早期復旧・復興に取り組む

(4) その他基本方針に沿った取組み

① 誰一人取り残さない学びの保障 ② きめ細かな教育による学力の向上とグローバル人材の育成 ③ 魅力ある学校づくり

2 令和5年度予算で取り組む主な施策

(1) 熊本地震からの創造的復興

① 被災児童生徒の支援

- ・ 高等学校等通学支援事業（熊本地震分） 41百万円
南阿蘇鉄道の運休により通学困難となった生徒に対する通学支援
- ・ スクールカウンセラー活用事業（熊本地震分） 14百万円
児童生徒の心のケアを行うスクールカウンセラーの配置
- ・ スクールソーシャルワーカー活用事業（熊本地震分） 1百万円
地震の影響が大きかった地域の児童生徒の支援等のためスクールソーシャルワーカーを配置



② 文化財の災害復旧

- ・ 文化財災害復旧事業 3億円
国・県指定文化財等の復旧
- ・ 被災文化財保存復旧支援事業 6百万円
未指定歴史的建造物の復旧に係る被災者支援対策経費等
- ・ 熊本文化財記録・伝承事業（新） 1百万円
対応記録集の刊行に要する経費等



(2) 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・ 特別支援学校通学バス感染症対策事業 1億13百万円
通学バスの乗車数を少人数化するため通学バスを増便
- ・ 学校における感染症対策事業 2月補正 32百万円
県立学校における感染症対策のための物品購入



- ・ 熊本県教育情報化推進事業（教育情報化研修事業） 10百万円
教職員のICT活用指導力向上研修及び情報モラル研修等の実施
- ・ 教育支援体制整備事業（公立幼稚園） 11百万円
公立幼稚園における感染症対策等の教育環境整備を実施する市町村への補助

【教育委員会】令和5年度主要事業

(3) 令和2年7月豪雨からの創造的復興

① 被災児童生徒の支援

- ・ 高等学校等通学支援事業（豪雨分） **3億30百万円**
JR肥薩線及びくま川鉄道の運休により通学困難となった生徒への通学支援
- ・ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー活用事業（豪雨分） **3百万円**
児童生徒の心のケア等のためのスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを配置
- ・ 熊本県教育情報化推進事業（球磨川流域教育情報化推進事業） **1百万円**
ICT企業と連携した教職員・生徒向け研修や学校の取組みへの支援

・ 地域資源とのコラボ推進事業

2百万円

人吉球磨地域の学校・学科の特色化を図るため専門教育を充実

② 文化財の災害復旧

- ・ 文化財保存事業（豪雨分） **21百万円**
被災した文化財等の保存等を目的とした事業への補助
- ・ 文化財災害復旧事業 **7百万円**
被災した文化財の復旧



青井阿蘇神社

(4) その他基本方針に沿った取組み

① 誰一人取り残さない学びの保障

- ・ 夜間中学整備事業（拡） **1億85百万円**
令和6年4月に開校する県内初の夜間中学の設置準備等
- ・ 多様な学びの場整備事業（新） **2百万円**
「新しい通級による指導モデル」の開発や教員の専門性の向上のための研修等
- ・ 学校施設整備事業（県立高校・特別支援） **44億6百万円** **一部2月補正**
老朽化した学校施設の改築や長寿命化改修等



② きめ細かな教育による学力の向上とグローバル人材の育成

- ・ 学力向上対策事業 **71百万円**
子供たちの主体的な学びを育む教職員の授業力向上に向けた取組み等を充実
- ・ 熊本県教育情報化推進事業（熊本県教育情報システム運用事業）（拡） **1億80百万円**
校務のICT化や学習データ活用のためのソフトの導入等
- ・ こども図書館設置準備事業 **26百万円**
こども図書館の開館に向けた図書購入や広報等の取組み
- ・ 特別展「文字が語る古代のくまもと」の開催（新） **11百万円**
くまもと文学・歴史館の佐藤館長が企画する重要文化財等の展示会の開催
- ・ 日本語指導推進事業（新） **15百万円**
日本語指導者養成及びTSMC駐在員子女受け入れに係る体制整備

③ 魅力ある学校づくり

- ・ 県立高校魅力化きらめきプラン（拡） **49百万円**
各学校の特色化、情報発信、国際バカロレア認定に向けた準備等
- ・ 県立高校半導体関連人材育成事業（新） **38百万円**
半導体関連企業等の見学や体験学習、半導体エンジニアを講師とする出前授業等
- ・ 教員不足解消緊急対策事業（新） **9百万円**
教員不足解消のための戦略的な広報活動やペーパーティーチャー講習会の実施等

- ・ 学校における働き方改革推進事業（拡） **11百万円**
働き方改革支援アドバイザーの派遣、学校訪問等によるフォローアップ



- ・ 部活動指導員配置事業（拡） **46百万円**
市町村立中学校及び県立学校における部活動指導員の配置
- ・ 子供たちの豊かなスポーツ環境整備事業（新） **77百万円** **一部2月補正**
休日の中学校運動部活動の地域移行に向けた県と市町村の実証事業

